

目次

★第25期事務局★

★会費納入のお知らせ★

★新著・新編著発行時のお願い★

1. 2013年度大会プレシンポジウムのお知らせ
2. 社会政策関連学会協議会シンポジウムの開催
3. 日本労働社会学会第25期第3回幹事会議事録 (2013.7.6開催)

★日本労働社会学会事務局 (第25期) ★

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 拓殖大学政経学部

中川 功 (なかがわ いさお) 研究室気付

TEL/ FAX: 03-3947-9174

E-mail: laborsociology1988@gmail.com 学会HP: <http://www.jals.jp/>

(学会ホームページがリニューアルされました。気が付いた点などお知らせください。)

★会費納入のお知らせ★

学会費の納入は下記口座までお願いします。

【郵便振替口座】口座番号: 00150-1-85076 加入者名: 日本労働社会学会

年会費 学生・院生会員: 6,000円 一般会員: 10,000円

会費減免制度については、下記URLをご参照ください。

<http://www.jals.jp/discount/>

★新著・新編著発行時のお願い★

会員のみなさん、新著や新編著を出された方はWeb担当の吉田宛てに連絡くださるようお願いいたします。新装開店の学会Webで紹介するとともに、本学会の業績把握や奨励賞候補作の選定に資するべく、情報発信を強化していきます。

1. 2013年度大会プレシンポジウムのお知らせ

研究活動委員会

9月7日(土)、専修大学神田キャンパスにて2013年度大会シンポジウム「サービス労働の分析(仮)」に向けてプレシンポジウムを開催します。本学会ではこれまで体系的に取り組んだことのない主題です(下記の趣旨を参照)。当日は各報告者にシンポジウムで報告予定の内容を示していただき、全体の調整と補充すべき内容の確認などを行います。会員の方々の参加を歓迎します。

開催日時: 764教室15:30~18:00

開催場所: 専修大学神田キャンパス7号館

アクセス案内

http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/k_anda_campus.html

キャンパス案内 http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/kanda_campus/kanda_campap.html

報告者・テーマ:

1. 介護労働の分析
報告者: 山根純佳
2. 看護労働の分析
報告者: 小村由香
3. サービス産業の労働実態と労働運動
報告者: UAゼンセン 木暮弘*
4. サービス労働論の理論的課題
報告者: 鈴木和雄

*コメンテーター 大野威

*木暮氏は公用で出席できないので報告要旨を京谷が紹介する予定です。

大会シンポジウムの趣旨:

これまでの日本の社会科学における労働研究は製造業部門の直接生産工程の労働に比重が置かれる傾向があった。しかし労働者が従事する実際の就業構造からみても、また労働者の課題に取り組む労働組合運動の面からみても、非製造業部門における労

働はますます重要性を増している。さらに卸・小売、飲食・宿泊、娯楽などの都市サービス業は非正規雇用の若者や女性が就労する大きな市場となっている。したがって本年の大会において、非製造業部門におけるサービス労働を主題に置き、①その特徴と労働者が直面する問題などの現状を分析し、②サービス労働従事者の組織化と問題解決に取り組む労働組合運動を分析し、③このようなサービス労働者の状態や運動とサービス労働の理論的研究とをどのように接合しうるのかを検討する。

研究活動委員会 京谷栄二 (2013年度大会シンポジウム担当)

2. 社会政策関連学会協議会シンポジウムの開催

日本労働社会学会会員各位

社会政策関連学会協議会担当幹事(清山)です。

本学会も所属している社会政策関連学会協議会では、下記のシンポジウムを企画しました。

政策的にも現在焦点になっている生活保護や最低賃金などナショナル・ミニマムがテーマです。

是非、会員の皆様には、シンポジウムに積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

詳細は添付ファイルをご参照ください。

テーマ：「雇用と社会保障におけるナショナルミニマム」

日時：9/28(土) 13:30~17:00

場所：東京大学法文2号館1大教室

I 講演(13:35-15:05)

社会保険の機能強化とナショナルミニマム

土田武史(早稲田大学・社会政策学会)

ナショナルミニマムとしての生活保護

布川日佐史(法政大学・日本社会福祉学会・社会政策学会)

雇用と賃金におけるナショナルミニマム

小越洋之助(國學院大学名誉教授・労務理論学会)

休憩(15:05-15:15)

II 講演(15:15-16:15)

ナショナルミニマムと医療介護

住居広士(県立広島大学・日本社会福祉学会)

ナショナルミニマムのジェンダー視点

神尾真知子(日本大学・ジェンダー法学会)

III 総括討論(16:15-16:55)

司会：平岡公一(お茶の水女子大学・福祉社会学会)

参加申込方法

E-mailまたはFaxで、必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)をご記入の上、お申し込みください。

遠藤公嗣(明治大学経営学部教授)

E-mail: social2008@live.jp Fax: 03-3296-2350

*定員(200名) 先着順です。

3. 日本労働社会学会第25期第3回幹事会議事録(2013.7.6開催)

1. 第25回大会準備状況

大会校である東北福祉大学の園田会員より、教室の確保状況、工場見学先の候補(日本製紙石巻工場、復興マルシェ)の紹介、および工場見学の方法が紹介された。仙台から石巻へのアクセスについては中型バスを手配することにし、その費用については参加者に3000円の負担し、不足が生じた場合には大会運営費とは別に学会から補填することとなった。

京谷会員より、シンポジウムは「サービス労働の分析」(仮)とし、報告者は山根純佳会員(山形大学)、小村由香会員(日本看護協会)、木暮弘氏(UAゼンセン)、鈴木和雄会員(弘前大学)とし、コメンテーターは大野威会員(立命館大学)となったことが報告された。なお9月7日にはプレシンポが開催され、木暮氏以外からは出席可能との連絡が来ているとのことである。

2. 委員会・担当業務報告

- (1)年報編集委員会
特集「『格差社会』のなかの労働運動」について3本の原稿のうち1本がまだ未提出であることが報告された。また投稿論文については2本がこれから査読の作業に入る予定であること、書評については7本掲載される。
- (2)『労働社会学会研究』（ジャーナル）編集委員会
電子化1号となる次号の刊行スケジュールが報告され、現時点での課題が議論された。
- (3)研究活動委員会
(ア)研究活動委員会の責任者の交替について。上原会員の体調がすぐれないため、京谷会員に交替したことが了承された。
(イ)奨励賞について：推薦された本はなかったが、研究活動委員会が会員の業績を点検し、著書の部について4冊の候補作が提示されたが、うち2本については入会后2年以上の規定をクリアしていないことから、2冊について候補として選考委員会にかけることとなった。また、選考委員会のうち1名の方が体調がすぐれないとの情報があり、断わられた場合には北島滋会員にお願いすることとなった。
(ウ)自由論題報告の募集について：通常であるがこの時期には既に自由論題の募集がなされていなければならないが、今年についてはまだなされていないことから、本幹事会后すぐに会員に通知するとともに、従来7月末日であった申込み締切を8月20日に遅らせることとした。次回の幹事会では司会者の検討をすることが確認された。
- (4)社会学系コンソーシアム
3月に理事会が開催され、メンバーが確定したこと、および来年、公開シンポジウムが開催されるとのことが橋本会員から報告された。
- (5)社会政策関連学会協議会
1月と3月に開催され、3月には若手研究者の就職問題について学習会が開催されたこと、7月8日に女性研究者のワークライフバランスの学習会、9月29日に「雇用と社会保障におけるナショナルミニマム」と題したシンポジウムが開催されることが清山会員から報告された。
- (6)会計担当
遠距離からの定例研究会報告者に対して支払われる旅費補助に関する規定が昨年二つ策定されていることが明らかとなったことが驚谷会員より報告され、どうするかについて話しあわれた。一方では一律1万円、他方の学会旅費規定では2万円を上限としていたが、後方で統一することとした。また遠距離の会員外の研究者が定例研究会で発表する場合には、新たに学会旅費規定第一条に「(8)その他、幹事会で定めた者」を設け、これに対応することとした。
- 3.事務局より
(1)5月にサーバーおよびドメイン管理会社に変更された旨、およびその経緯が報告された。なお、変更後、設置したblogの書き込み権限を各委員会の代表者に与えることとなった。
(2)会員の異動
退会者5名が確認されたが、うち1名は既に退会済みであったが学会費の請求がなされていたため、実質は退会者4名となった。
(3)5名の入会希望者があり、全員入会が認められた。
(4)会費減免申請が1名からあり、認められた。

以上
